



SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: エクリプスジャパン株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・一般廃棄物処理業、産業廃棄物処理業の許可を持っている企業に処理を依頼している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・冷暖房の温度設定を環境省が推進する設定温度にすることで削減している。 ・【予定】令和4年1月から年間を通してのガソリン使用量、電力消費量の把握を行い、更なる削減に取り組む。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・【予定】令和4年1月から年間を通して簡易計算シートを活用し、温室効果ガスの排出量を把握し、ガソリン・灯油・電力等のエネルギー消費量を削減する。 ・【予定】令和4年中にEVの営業車を1台導入する。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・香典返しのビニール袋を紙手投げ袋(計画的に植林された森林で栽培された木材を使用)に変更している。 ・【予定】令和4年3月までにプラスチックマドラーをFSC認証の紙製マドラーに変更する。						6.6									14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・PEFC認証のコピー用紙などの環境に配慮した製品への切り替えを推進している。 ・業務で発生した用紙を裏紙メモ帳にして利用している(個人情報などの守秘義務分はシュレッダー処理をしている)。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・社員用給湯室、お客様控室にて節水呼び掛けのステッカーを掲示して水資源保全への啓発を行っている。 ・お客様控室浴室のシャワーヘッドを節水率50%の節水器具に変えたり、社内の蛇口へ節水器具を取り付けている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5					14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・PEFC認証のコピー用紙などの環境に配慮した製品への切り替えを推進している。 ・名刺の用紙をLIMEXに切り替えている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・精進上げなどの食品提供については、お弁当の形態で対応している。		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・館内の緑化、敷地内の花壇の整備、手入れを行っている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー利用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・看板照明をLEDライトに変更、事務所の照明をLEDライトに変更。 ・事務所の古いエアコン機器を廃止して2020年モデルのより高効率なエアコンへ切替を行っている。								7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・PEFC認証紙を利用、カーボンオフセットの棺を利用したプランの作成。 ・県産材の利用を推進。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・カーボンオフセットの棺(1棺ごと1本植樹)を利用した葬儀プランの推進。 ・PEFC認証コピー用紙(1BOXごと2本植樹)への切り替えを推進。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・【予定】令和4年以内を目標に、現在使い捨てのプラスチック製のインサートカップ、マドラーの使用を廃止して、陶器製コップ、金属製のスプーンに切り替えることでゴミ排出量を削減する。												12.2 12.5			14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・【予定】令和4年中にEVの営業車を1台導入する。									9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

